

園長先生の子育てひろば

令和7年2月

園長 堀田 あけみ

寒いが続いています。外に出るのも億劫ですが、お買い物は必須ですし、小さい子どもを置いていくわけにもいきません。外出の際には、着るものの加減にも悩んでしまいますね。大人と違って、子どもは暑いとか寒いとか言わずにただ不機嫌になってしまうこともあって大変です。そんな中でも、幼稚園では元気一杯の子ども達が走り回っています。

年末年始は伝統行事が多く行われる時期です。ご家庭でも、大晦日のおそばに始まり、年が明けてからは、お雑煮・おせち・七草がゆが食卓に上がることがあったのではないのでしょうか。幼稚園では、十二月にはお父さん方のご協力をいただいて、おもちつきを行い、始業式の日にお年賀として、きよめ餅をいただきました。どちらでも子ども達の大歓声が沸き上がりました。園長に就任して以来、私が保護者だった時代にはなかったなあ、と感じることが多々あります。それは、「アプリで出欠をお知らせできるって、すごく便利」といった園の側の話だったり、「グループ LINE って面倒かも」といった保護者側の話だったりします。今回のお餅つきで「ご家庭で、おもちを食べる練習をしてください」という連絡を目にして、意外なような納得したような複雑な気持ちになりました。おせちやお雑煮を作ったり、鏡餅を飾ったりは、私達の世代でもわざわざしない人がいると思います。自身を顧みても、私の実家に帰省しているから、そのような行事にふれています。それがなかったら、どこまで自分だけで頑張れるかは疑問です。亡夫の生家に帰省していた時代は、お雑煮以外のお正月行事はありませんでしたから、今に始まったことではないのかもしれないですね。

相山幼稚園では、伝統行事を子ども達と一緒に楽しめるように心がけています。三学期には、豆まきとおひな祭りがあります。こういった行事を行うときには、それにまつわるお話を絵本や紙芝居で楽しみます。元旦・ひな祭り・こどもの日・七夕、奇数が重なるお節句を、すべてフォローしようと九月九日 重陽の節句をどうにか組み入れたいと思いましたが無理でした。菊の花びらを浮かべたお酒を飲んで、長寿と子孫繁栄を願うのが習わしだそうで、どう転んでも幼稚園の行事に向いてはいませんね。一応、行事食としては栗、特に栗ご飯があるそうです。

もちろん、日本の伝統だけでなく、クリスマスやハロウィンといった欧米由来の行事も楽しみます。確認したところ、バレンタインデーに関しては、今は保育に関係ないものは、持ってこないようにとさりげなくお伝えするとのこと。私が保護者だった頃は、降園後の園庭でチョコレートが飛び交っていました。当時は預かり保育の利用が少なく、降園後の園庭が今より賑やかだったせいもあるでしょう。三十個以上もらう子もいました。学年の女子の半分以上です。男子全員に配る子もいたおかげで、我が家の男子もいただきました。片手で数えられるくらい。ちょうどいいです。負け惜しみじゃなくて。

だって、ホワイトデーにお礼をするのが暗黙の了解になっていましたから。全員の名前控えて、お礼の品を揃えるのは大仕事。手作りマフィンのオーブン1回分で済むくらいが理想です。プリンとホットケーキミックスでお手軽にできるので、お子さんと作ってみてはいかがでしょうか。